

メッセージ別定義一覧

Ver 2.2

メッセージ名称		定義	伝達方向	対象業務プロセス	備考
1	発注メッセージ	・小売企業が卸やメーカーに商品を発注するために使用するメッセージ。 ・卸企業やメーカーはこのメッセージをもって受注する。予定発注ではなく、商品や数量が確定した発注である。また、取引形態は買取取引となる。小売企業側は発注メッセージで取引番号を付番する。この取引番号は支払メッセージまで引き継がれていく。	小売企業 → 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
2	出荷メッセージ	・卸やメーカーが小売企業に事前に出荷明細情報を伝えるために使用するメッセージ。 ・小売企業はこのメッセージの内容と実際の入荷内容を突き合わせて検品を行う。出荷メッセージは発注メッセージでセットされた取引番号や支払企業、発注者、納品先、請求取引先、商品コード等を引き継いだ上で、訂正後納品日、出荷数量、欠品数量、出荷荷姿に関する情報を付加したものである。	小売企業 ← 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
3	出荷梱包(紐付あり)メッセージ	・卸やメーカーが小売企業に対し事前に出荷明細情報を伝えるために使用するメッセージ。小売企業はこのメッセージの内容と実際の入荷内容を突き合わせて検品を行う。 ・このメッセージは、梱包Noと明細の紐付けがされている形式である。発注メッセージでセットされた取引番号や支払企業、発注者、納品先、商品コード、数量、納品日、単価等を引き継いだ上で、訂正後納品日、出荷数量、欠品数量、ITF情報等を付加したものである。	小売企業 ← 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
4	出荷梱包(紐付なし)メッセージ	・卸やメーカーが小売企業に対し事前に出荷明細情報を伝えるために使用するメッセージ。小売企業はこのメッセージの内容と実際の入荷内容を突き合わせて検品を行う。 ・このメッセージは、梱包Noと明細の紐付けがされていない形式である。発注メッセージでセットされた取引番号や支払企業、発注者、請求取引先、商品コード、数量、納品日、単価等を引き継いだ上で訂正後納品日、出荷数量、欠品数量、ITF情報等を付加したものである。	小売企業 ← 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
5	受領メッセージ	・卸やメーカーから送られてきた出荷メッセージ、出荷梱包メッセージの内容と入荷内容を小売企業側が付き合わせた結果を連絡するメッセージ。 ・予定の梱包・商品が過不足なく入荷したかどうかを伝える。発注・出荷でセットした項目が引き継がれているので、受領メッセージを確認すれば、発注・出荷における取引が確認できる。	小売企業 → 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
6	受領訂正メッセージ	・小売店舗、物流センターへの納品に対し、小売受領後に発覚した納品数量不足を把握して、正しい決済を行うため使用されるメッセージ。 ・使用するには、小売・卸双方で調査及び訂正可否検討を行い、両者にて訂正合意がなされた場合のみ可能とする。この時に発生したデータはすべて支払データにのせ、取引行為(受領後の訂正)があったことがわかるようにする。	小売企業 → 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
7	返品メッセージ	・小売企業が受領後に商品を取引先に返品する際に使用するメッセージ。 ・小売企業は返品メッセージで連絡した商品・数量について現品を取引先に返品する。	小売企業 → 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
8	請求メッセージ	・あらかじめ合意している一定期間分の受領メッセージ(返品が発生した場合は返品メッセージも)をもとに売上内容を小売企業に通知するために使用するメッセージ。取引先からの請求を必要とする取引において利用される。	小売企業 ← 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
9	支払メッセージ	・小売企業から取引先に対して支払内容を伝えるために送信されるメッセージ。請求メッセージの内容と受領メッセージ(返品が発生した場合は返品メッセージも)を突き合わせた結果を伝える。請求のない計上払いの場合もある。	小売企業 → 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
10	返品受領メッセージ	・小売企業から受け取った返品メッセージに対して、卸・メーカーが小売企業に対して返品数量を確定するためメッセージ。 ・卸・メーカーは返品メッセージと返品された現物のマッチングを行い、確定した返品数量を小売に対して送信する。	小売企業 ← 卸・メーカー		
11	出荷荷姿メッセージ	・「店別発注－総量納品」のプロセスにおいて、卸・メーカー側が、小売本部から受け取った店別発注データを荷姿別に集計したメッセージ。 ・卸・メーカーは作成した出荷荷姿データを小売側TC(3PL)に送信する。 ・なお、同モデルでは、小売からTC(3PL)に対して店別の発注データを事前送信し、TC(3PL)ではそのデータをもとに店別仕分けを行う。	小売企業 ← 卸・メーカー		
12	集計表作成データ(発注)	・従来より一部小売企業で運用されていた、「複数店舗の発注内容を1枚の集計表で表現し、店別出荷する運用」をモデルとしたメッセージ。 ・総量の発注メッセージと合わせて使用し、店別内容を補うオプションとする。	小売企業 → 卸・メーカー		
13	集計表作成データ(出荷)	・従来より一部小売企業で運用されていた、「複数店舗の発注内容を1枚の集計表で表現し、店別出荷する運用」をモデルとしたメッセージ。 ・総量の出荷メッセージと合わせて使用し、店別内容を補うオプションとする。 ・総量のメッセージ(出荷、受領)を計上用とし、集計表作成データ(出荷)は店別の出荷実績把握用とする。 ・出荷梱包メッセージで運用する物流センター用に、「集計表作成(出荷)」とは別に、「集計表作成(出荷梱包紐付けあり)」を用意し、運用に応じていずれかを選ぶことができる。	小売企業 ← 卸・メーカー		
14	集計表作成データ(出荷梱包紐付けあり)	・従来より一部小売で運用されていた、「複数店舗の発注内容を1枚の集計表で表現し、店別出荷する運用」をモデルとしたメッセージ。 ・総量の出荷メッセージと合わせて使用し、店別内容を補うオプションとする。 ・総量の出荷メッセージを計上用とし、集計表作成データ(出荷)は店別の出荷実績把握用とする。 ・出荷梱包メッセージで運用する物流センター用に、「集計表作成(出荷)」とは別に、「集計表作成(出荷梱包紐付けあり)」を用意し、運用に応じていずれかを選ぶことができる。	小売企業 ← 卸・メーカー		

メッセージ別定義一覧

Ver 2.2

メッセージ名称		定義	伝達方向	対象業務プロセス	備考
15	集計表作成データ(受領)	・従来より一部小売企業で運用されていた、「複数店舗の発注内容を1枚の集計表で表現し、店別出荷する運用」をモデルとしたメッセージ。 ・総量の受領メッセージと合わせて使用し、店別内容を補うオプションとする。 ・総量の受領メッセージを計上用とし、集計表作成データ(受領)は店別の入荷実績把握用とする。	小売企業 → 卸・メーカー		
16	値札メッセージ	・「値札印字情報そのもの」をEDIメッセージ項目として共有するメッセージ ・「EDI上の各項目から印字変換して利用する場合(従来型)」と「値札印字情報そのものをEDIメッセージ項目として利用する場合(コンセプト方針)」の双方に対応 ・多様なプレーヤー間(小売→取引先、小売→値札ベンダー取引先)、タイミング(事前共有、発注と同時)を一つのメッセージで利用する。	小売企業 → 卸・メーカー		
17	発注予定メッセージ	・小売企業が商品の発注予定数量や本部の発注計画情報を卸・メーカーと共有する際に使用するメッセージ。 ・卸・メーカーは発注予定メッセージを商品調達のための参考情報として活用する。 ・本メッセージはオプション(必要に応じて送信)のメッセージである。正式な発注には別途「発注メッセージ」の送信が必要となる。 ・本メッセージは、不定貫の取引に対応可能となっている。	小売企業 → 卸・メーカー		
18	商品提案(カタログ)メッセージ	・本メッセージには、①商品提案(カタログ)、②商品提案(商品マスタ)、③商品提案(価格提案)の3タイプがある。 ・卸・仲卸が使用可能なアイテムや数量・価格情報等を小売に伝達するためのメッセージ。 ・本メッセージは、不定貫の取引に対応可能となっている。	小売企業 ← 卸・メーカー		
19	商品提案(商品マスタ)メッセージ	・本メッセージには、①商品提案(カタログ)、②商品提案(商品マスタ)、③商品提案(価格提案)の3タイプがある。 ・小売が商品提案や価格変更情報を要望する商品コードや商品名について、小売の商品マスタ情報を参考に卸・仲卸に伝達するためのメッセージ。 ・本メッセージは、不定貫の取引に対応可能となっている。	小売企業 ← 卸・メーカー		
20	商品提案(価格提案)メッセージ	・本メッセージには、①商品提案(カタログ)、②商品提案(商品マスタ)、③商品提案(価格提案)の3タイプがある。 ・卸・仲卸が相場情報(価格変更情報)、事前商談で取り決めた価格の確定情報や変更情報、出荷予定商品情報を小売に伝達するためのメッセージ。 ・本メッセージは、不定貫の取引に対応可能となっている。	小売企業 ← 卸・メーカー		
21	納品提案メッセージ	・商談で合意した内容を卸・メーカーから送付するメッセージ(小売の発注データ作成を支援するデータ)。 ・納品提案メッセージの内容は小売側が作成する発注メッセージに引き継がれる。 (発注以降はターンアラウンド型ビジネスプロセスとなる)	小売企業 ← 卸・メーカー		
22	POS売上メッセージ	・小売企業の販売時点で発生するPOS情報を卸・メーカーに対して送付するためのメッセージ。 ・大きく分けて「集計期間」「販売店舗情報」「POS情報(レシート単位の集計)」「販売商品情報」「販売実績情報」「取引実績情報」「分析情報」からなり、必要に応じた項目を使用する。	小売企業 → 卸・メーカー		
23	在庫補充勧告メッセージ	・センターはセンター内の適正在庫を維持するために、卸・メーカーに対して在庫補充依頼を勧告する。	預りDC → 卸・メーカー	預り在庫型センター納品プロセス	
24	入庫予定メッセージ	・卸・メーカーはセンターに入庫する商品、入庫する予定日、入庫する予定数量などをセンターに連絡する。 ・卸・メーカーは不良在庫となった商品、数量、引き取り予定日などをセンターに連絡する。	預りDC ← 卸・メーカー		
25	入庫確定メッセージ	・センターは卸・メーカーから納品されてきた商品を検品し、検品した数量を卸・メーカーに連絡する。 ・不良在庫の引取り後、センターは引取りが確定した旨を卸・メーカーに連絡する。	預りDC → 卸・メーカー		
26	在庫報告メッセージ	・良品在庫、不良在庫などのストック情報を卸・メーカー、小売企業に報告する。 ・良品在庫の入出庫、不良在庫などの引取や精算といった、センター内の総在庫が日々変動する情報を卸・メーカー、小売企業に報告する。 ・在庫管理に関わる指標等結果を報告する。 ・センター内で卸・メーカー責の不良在庫が発生した場合、センターは不良在庫の引き取りを卸・メーカーに勧告する。	預りDC ↔ 卸・メーカー		
27	請求鑑メッセージ	・あらかじめ合意している一定期間分の受領メッセージ(返品が発生した場合は返品メッセージも)をもとに売上内容の合計を小売企業に通知するために使用するメッセージ。取引先からの請求を必要とする取引において利用される。 請求書の鑑にあたる合計金額等を交換する場合に使用する。	小売企業 ← 卸・メーカー	受発注型業務プロセス	
28	値引・値引依頼メッセージ	・〈値引メッセージ〉卸・メーカーから小売企業に「値引」処理の情報を連絡する。 ・〈値引依頼メッセージ〉小売企業から卸・メーカーに「値引」処理の情報を連絡する。 ・値引及び値引依頼メッセージの内容は、返還インボイスである「対価の返還」を対象とし、データは取引内容(取引明細)として利用できるものとする。 ※「対価の返還」と「役務の提供」の項目・範囲の定義は流通BMS標準仕様内では定義しない。	〈値引〉 小売企業 ← 卸・メーカー 〈値引依頼〉 小売企業 → 卸・メーカー		